

令和5年度

年間授業計画

東京都立小金井工科高等学校定時制

教科名	公民	単位数	1	単位
科目名	政治・経済（3年生）	対象学年・科	3年・A、B、C	組
教科担任	印南明彦			
教科書 副教材等	最新政治・経済(新訂版) 実教出版			

指導目標	<p>広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、主権者として必要な能力と資質を育てる。今年度は政治部門を中心として経済部門は次年度の4年生時に予定。</p>
------	--

		単 元	予定時数	学 習 内 容・目 標
年 間 授 業 内 容	一 学 期	(1) 現代の政治 ア現代国家と民主政治 (民主政治の基本原則) イ民主政治の基本原則と日本国憲法 (日本国憲法の成立など) ウ現代の国際政治 (国際社会と国際法、国際連合と国際協力など)	14時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権保障、国民主権、法の支配など、民主主義の原理やその発展について考察する。</li> <li>・日本国憲法における基本的人権の尊重、国民主権、天皇の地位と役割、国会、内閣、裁判所などの政治機構を概観し、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について考察する。</li> <li>・国際社会や国際法、国連をはじめとする国際機関の役割をふまえ、国際政治の特質や国際紛争の諸要因について考察する。</li> </ul>
	二 学 期	(1) 現代の政治 ウ現代の国際政治 (平和主義と自衛権、日米安全保障体制の変化、21世紀の平和主義) (2) 現代の経済 ア現代経済の仕組みと特質 (経済主体と市場の動き、企業の役割、日本の財政の課題、労働問題と労働者の権利、社会保障の役割) イ国民経済と国際経済 (貿易と国際収支、外国為替市場のしくみ、国際経済の動向など) (3) 現代社会の諸課題	14時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法における平和主義の意義と冷戦終結後の日本の安全政策をふまえ、国際平和や人類の福祉に寄与する日本の役割について考察する。</li> <li>・経済の基本的な仕組みを理解し、日本経済の現状と問題点をふまえ、労働関係、社会保障などといった日本経済が直面する課題について考察する。</li> <li>・貿易の意義、為替相場や国際収支の仕組み、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について理解し、グローバル化が進む国際経済の特質について把握し、国際経済における日本の役割について考察する。</li> <li>・政治や経済などに関する基本的な理解を踏まえ、持続可能な社会の形成が求められる現代社会の諸課題を探究する活動を通して、望ましい解決の在り方について考察を深める。</li> </ul>
	三 学 期	(3) 現代社会の諸課題	3時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政治や経済などに関する基本的な理解を踏まえ、持続可能な社会の形成が求められる現代社会の諸課題を探究する活動を通して、望ましい解決の在り方について考察を深める。</li> </ul>
評価の 観点 ・方法	授業中の取組状況(グループワーク・プレゼンテーション等)、提出物(授業プリント・まとめプリント・レポート等)、出席状況、各定期考査(年5回)の得点を総合的に勘案して評価を行う。			